

チェックリストによる河川事業の再評価項目（その1）

河川名	黒谷川	事業名	総合流域防災事業	事業区間	板野郡板野町大寺他
再評価の実施理由	再評価実施後5年が経過しており、事業の必要性・効率性を再度評価する必要がある。				
未着工或いは事業が長期間要している理由	用地取得および河道内の埋文調査等に時間を要したため。				
事業内容	事業目的	河道の拡幅、天井川の解消等により浸水被害の解消を図る。			
	事業実施内容	全体計画延長L=4,250m 築堤1,186m ³ 、掘削100,637m ³ 、護岸832m、床止4基、道路橋5橋			
	目標流量	230m ³ /s	治水安全度（当該事業目標）	1/30	
事業の進捗状況	事業採択年	H14	工事着手年	H14	完成目標年 H36
	全体事業費（内用地費）	13.5億円 1.1億円	投資事業費（内用地費）	8.5億円 0.8億円	（進捗率63%） （進捗率73%）
	事業進捗状況	黒谷川は部分的な河床掘削と通学橋から上流の河川改修が残っているが、通学橋から下流において築堤工事は完了している。支川泉福寺谷川は工事が完了し、支川松谷川も改修区間上流端の現況河道との取り合いを残すのみである。			
	一連の整備効果の発現状況	改修済区間では河道が広がり、浸水被害が軽減されている。			
事業を巡る社会情勢等の変化	現状での課題	松谷川の改修工事の早期完成。黒谷川の学童橋から上流区間は、未改修で流下能力不足に加え、天井川のため破堤等による浸水被害のリスクが極めて高い。			
	災害発生時の影響（想定氾濫区域内）	（整備前）			
	①浸水戸数：約219戸				
	②浸水面積：約175ha				
	③重要な公共施設等：主要地方道鳴門池田線、主要地方道石井引田線、県道板野川島線 消防署、駐在所、病院等				
	④災害弱者関連施設：老人ホーム、デイサービス、老人いこいの家、児童館				
過去の災害実績	（S38～H26の水害統計、H16浸水痕跡マップ、H26浸水痕跡マップ）				
①被災頻度：S47(豪雨・台風20号)、S50(豪雨・暴風雨)、S51(台風17号・豪雨) S54(豪雨・暴風雨)、H16(台風23号)、H26(台風11号・12号)					
②最大浸水戸数：31戸[S50(豪雨・暴風雨)]					
③最大浸水面積：315ha[S50(豪雨・暴風雨)]					
④重要な公共施設等：主要地方道石井引田線、県道板野川島線等					
災害発生の危険度					
①改修目標流量に対する現況流下能力の割合：80%（黒谷川）、51%（松谷川）					
②現況の治水安全度：黒谷川1/8、松谷川1/1.7					

